

第8章 地域活動及び地域産業の推移

- * あいりん地域では、地域住民、日雇労働者（多くが簡易宿所利用者）のうち、後者を主な顧客とする様々な諸産業で成り立っていた。この10年間に日雇労働者の集住地域から生活保護受給者の集住地域へと激変したなか、簡易宿所利用者が地域住民としてのアパート居住者へと大きく移行した。
- * この10年間の変化を基盤にして、この地域にどのようなまちづくり主体（組織）が生まれ活動し、どのような可能性と課題があるのか、あらためて把握する必要がある。
- * NPO 釜ヶ崎支援機構、わいがや会、釜ヶ崎のまち再生フォーラムが形成され、それぞれ独自に取り組んできた。「定住者のまち」の側面にはじめて軸足が置かれる流れができた。
- * 地域の連合町会や社会福祉協議会においては、これまでの活動を継続しながらより効果的な連携の機会を創出しつつ、一方で自治会組織以外を含めたあいりん地域内外が一体となった地域活動を図る必要があり、そのためには、共有しうるテーマにおける漸進的な相互交流の機会（関係づくり）が必要である。
- * 近い将来、簡易宿所転用アパートや一部併用型も次の展開を考えなければならない時が来るであろう。外国人旅行者の積極的な受入れは、簡易宿所再生の選択肢の一つである。
- * 簡易宿所のハード、ソフトの改善や魅力ある商店街に向けた取り組みも必要である。

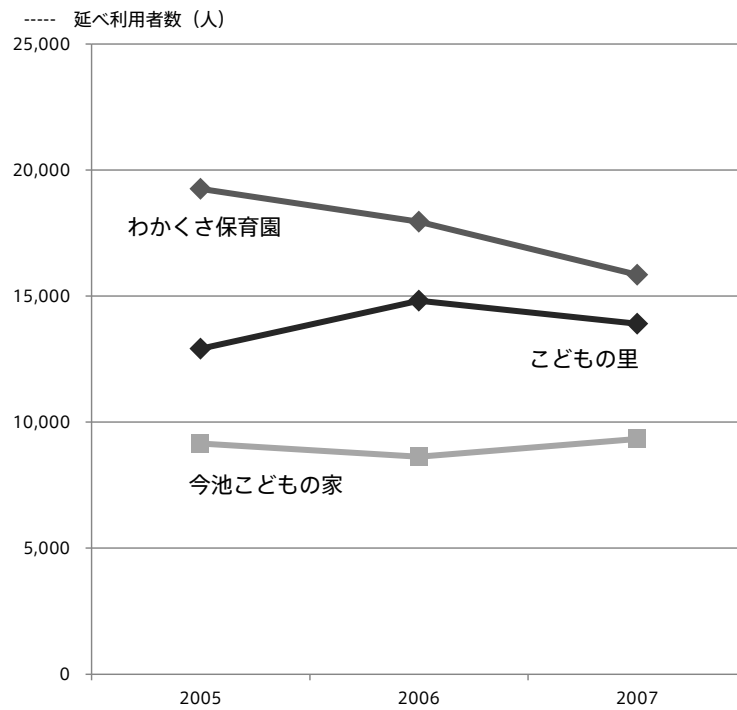
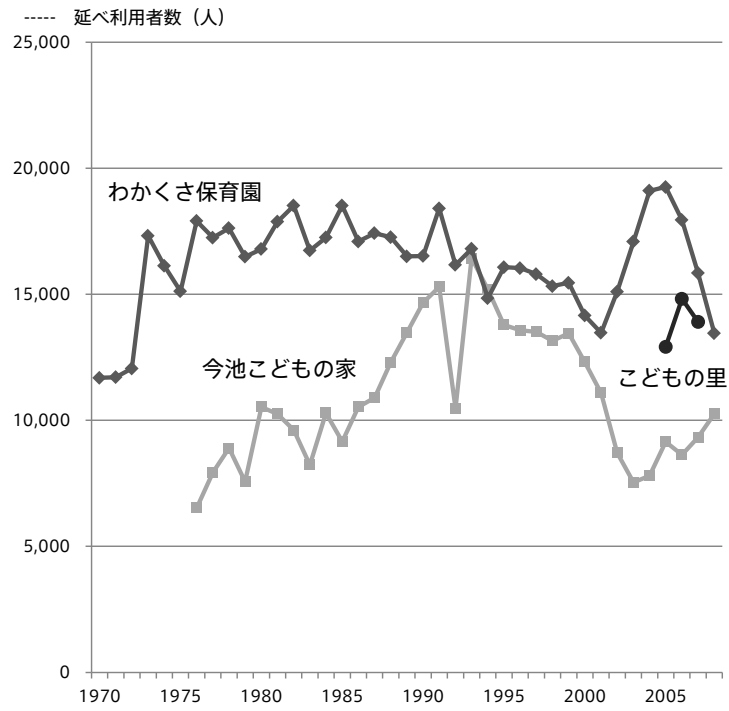


図 8-2-1-a 子ども関連施設利用者数の推移

資料：社会福祉法人井記念愛染園、こどもの里報告書資料より作成

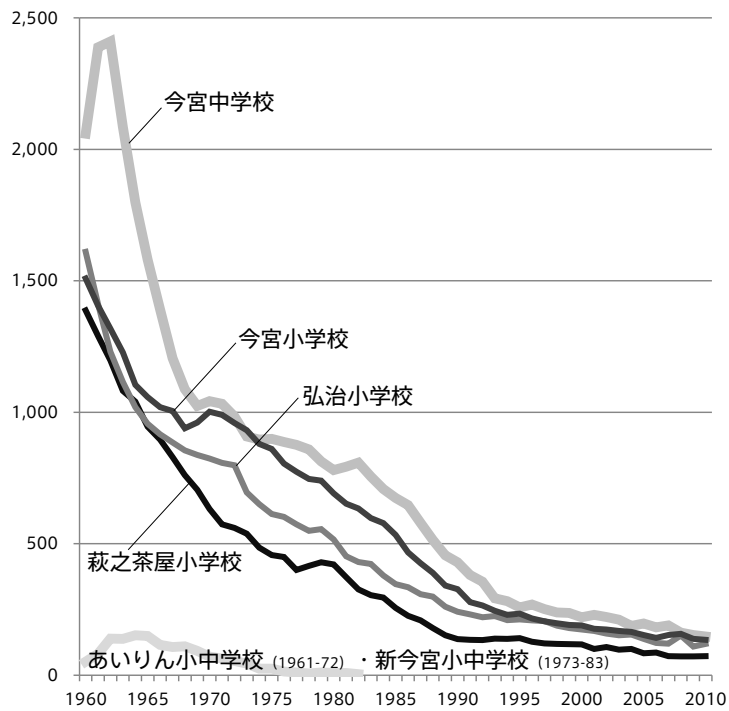


図 8-2-1-b 萩之茶屋小学校・今宮中学校・今宮小学校・弘治小学校
における児童数の推移 (1960-2010)

資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成

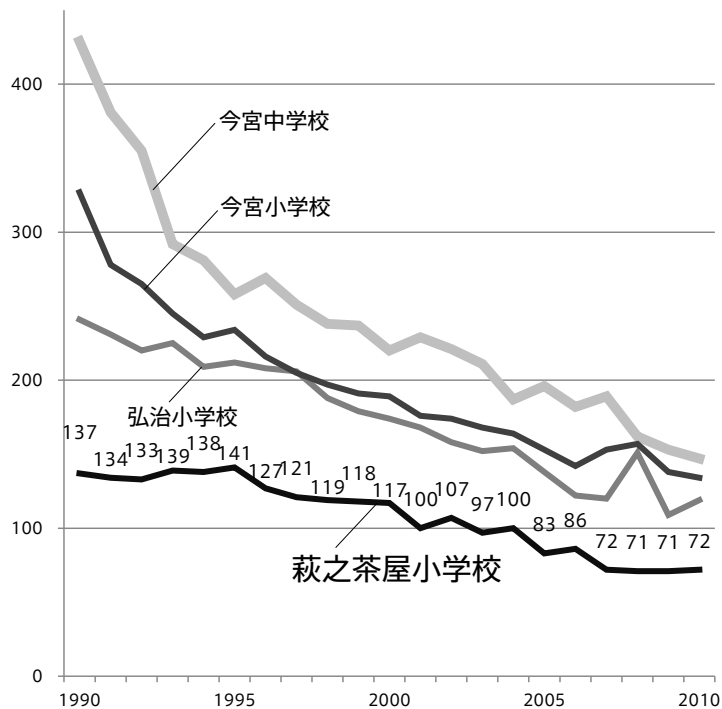


図 8-2-1-c 萩之茶屋小学校・今宮中学校・今宮小学校・弘治小学校
における児童数の推移 (1990-2010)

資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成

表 8-2-1-d 今宮中学校下の中学校・小学校の生徒・児童数等の変遷

単位：生徒数・児童数・教員数（人）
学級数（学級）

年	今宮中学校			あいりん中学校 ／新今宮中学校※			あいりん小学校 ／新今宮小学校※		
	生徒数	学級数	教員数	生徒数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数
5月1日現在									
1961	2,388	49	70	51	4				
1965	1,581	38	58	40	3	5	112	6	10
1970	1,042	27	45	34	3	6	58	6	12
1975	899	24	44	11	3	9	14	6	12
1980	780	23	42	7	3	9	3		4
1985	674	20	38						
1990	429	13	28						
1995	258	9	23						
2000	220	7	18						
2005	196	8	19						
2010	147	8	20						

年	萩之茶屋小			弘治小学校			今宮小学校		
	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数	児童数	学級数	教員数
5月1日現在									
1961	1,290	28	31	1,410	30	33	1,405	30	32
1965	945	26	33	956	23	27	1,058	26	32
1970	632	19	25	824	21	25	1,002	25	32
1975	457	14	23	613	18	23	860	25	35
1980	421	14	22	516	15	21	691	19	28
1985	256	10	21	346	13	17	533	17	26
1990	137	6	13	241	9	15	327	12	21
1995	141	7	14	212	7	13	234	10	16
2000	117	7	14	174	7	12	189	7	13
2005	83	8	17	138	7	12	153	7	14
2010	72	7	15	119	7	13	134	7	14

【注】

- (1) 学級数には、特別支援学級を含む。
(2) ※ 1973年(昭和48年)以降は、新今宮小・中学校の生徒数等を記載。

資料：大阪市健康福祉局提供資料より作成



図 8-3-1 あいりん地域 外国人宿泊数推移 某ホテル 8 軒計

資料：調査検討チームの聞き取りにより作成